

長岡の菓子店など

安心な「おやつ」被災地に

東日本大震災の被災地へ
食品アレルギーの人も安心
して食べられる菓子を贈ろうと、
長岡市の洋菓子店や、東京家政大学が、アレルギー
商品開発を始めた。今月
中旬に第1弾を届けるた

旬へ
中持

め、4日に試作会を開いた。
同市古正寺3の「ガトウ
専科リヴィエールヴィヴァ
ン」で試作し、埼玉県の食
品販売会社の研究者も参加
した。



保護者グループ「わんぱくアトピッズクラブ」の
子どもも交え、菓子を試作する東京家政大生ら＝
長岡市

アレルギー配慮 商品開発

宮城県七ヶ浜町の避難所
を調査した家政大3年の高
橋菜里さん(20)が「自分の
子に合った食べ物がほしい
と言いついにいい環境で、
特にアレルギーのある子の
親は困っている」と報告。
小麦粉や牛乳を使わず、米
粉やココナツミルクを材料
にした焼き菓子などを作っ
た。日持ちや運びやすさも
考え改良していく。

保護者グループ代表の高
野陽子さん(36)は「新潟市秋
葉区IIは「被災者はとても
困っているはず。安全な食
べ物を届けてほしい」と話
した。